



資料の背景を読み取り  
過去から未来まで見通す

後藤 篤子 教授

城北埼玉高等学校(埼玉県)出身  
松木 大輔 さん(3年生)

松木さん:  
1年次に基礎教養をしっかり学んだことで、専攻したい分野がはっきりしました。ゼミで「ドイツの宗教改革」を研究するようになってからは、西洋史の面白さを改めて実感しました。

後藤教授:  
史学科では、学生がそれぞれの感性に沿った学習ができる環境を整えています。ゼミを選ぶ際も希望を最優先にしますし、演習室には資料が豊富にあります。

松木さん:  
演習室の資料はよく活用しています。最近、先生がおっしゃる“共感的想像力”を意識し「どんな背景で書かれたか」を考えながら読むようにしています。

後藤教授:  
違う時代や地域の資料を読む時に、今の自分の価値観で読んだのでは意味がありませんからね。「自分とは違う尺度がある」ということを意識して史学を学べば、コミュニケーション能力も養われるはずですよ。

# 史学科

Department of History

## 教育の理念

歴史を学ぶと、歴史とは実に豊かな可能性にあふれているものだ、ということがわかるでしょう。歴史の中に、その豊かな可能性を自分で発見できたとき、私たちの「歴史を見る眼」が開かれます。その眼は、発見が進むごとに育ってゆくはずですよ。この史学科に学んで得た「歴史を見る眼」は、「今日と明日の世界を見る眼」にもなるでしょう。今この時代と社会にも豊かな可能性があふれていることを発見できるに違いありません。歴史には興味深い事実が無数にあります。私たちはそれを探するために、先人の残した遺物や文献を正確に読み解く学習をします。それが歴史の本当の面白さを発見する道となるのです。



## 史学科の特徴

本学科には日本史・東洋史・西洋史で計11の演習(ゼミ)があり、2年次より所属します。担当教員のもと、調査・研究の発表や討論、資料読解などの実践的な学習によって学力を養い、4年次の卒業論文にいたるまでの一貫した学びの場となります。授業以外にも、2~4年生が一緒に合宿や懇親会を催して交流を深め、ともに学び合っています。

### POINT 1 日本列島周辺の歴史に取り組む

考古・古代・中世・近世・近代のすべての時代ごとに専門の教員がいるだけでなく、「北方史」や「南方史」といった日本列島周辺地域の歴史に取り組む授業もあり、新しい視点から日本史を考え直すことにも力を入れています。

### POINT 2 特色ある地域史を深く学ぶ

さまざまな地域と時代を学べる本学科ですが、特に西洋文明の源泉である古代ギリシャ・ローマ、東アジア世界の中心にある中国および遊牧騎馬民族、その2つをつないでいるロシアについては、より充実した学習が期待できます。

### POINT 3 実物の史料(資料)による学習

考古学および古代史から現代史までの日本史分野では遺物や古文書を、東洋史・西洋史の両分野では外国語の文献をテキストとして学ぶ科目も。ときには遺物や古文書の貴重な実物に接したり、学外施設を利用したりして学ぶこともあります。

### POINT 4 新しい歴史学の取り組み

飛躍的に増えてきたデジタルテキストや各種のデータベースを授業・学習に活用。また、自ら史料(資料)や文献目録のデータベース化に取り組み、歴史学の新たな発展に寄与するとともに、学習の効率化と深化に役立っています。

## 4年間の学びの流れ／カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
学びのステップ	大学生としての教養を深める基礎科目とともに、専門科目として日本史・東洋史・西洋史の概説科目に接して歴史学の輪郭を学びます。12月には演習(ゼミ)を選択します。	日本史・東洋史・西洋史の各専攻(コース)のゼミに所属し、専門的な取り組みがスタート。さらに、特講科目として、より専門性の高い講義を受講します。	2年次に選択したゼミを引き続き履修。後輩の勉強を手助けしたり、助言したりすることになるでしょう。また、2年次に履修した以外の専門科目を自分の専攻分野を考えながら学びます。	ゼミ指導教員の指導のもとで卒業論文を執筆。初めての学術的創造活動は幅広い知識と調査能力も必要です。この論文を完成させることで、自分の成長を確認するでしょう。
必修科目	日本史概説I~IV 東洋史概説I~IV 西洋史概説I~IV			卒業論文
選択必修科目	【各分野共通】考古学概論 史学概論			
	【日本史専攻】日本考古学I・II 日本古代史科学I 日本古代史科学IIa・b 日本古文書学I・II 日本近世史科学I・II 日本近代史科学 日本現代史科学			
	日本考古学演習 日本古代史演習 日本中世史演習 日本近世史演習 日本近代史演習 日本現代史演習			
	日本史特講I~X 日本考古学 日本古代史 日本中世史 日本近世史 日本近代史 日本現代史			
選択科目	【東洋史専攻】東洋史外書講読I・II			
	東洋史物質資料演習 東洋史文献史料演習			
	東洋史特講I~VI 東洋古代史 東洋中世史 東洋近現代史 東洋考古・美術史			
自由科目	【西洋史専攻】西洋史外書講読I・II			
	西洋前近代史演習 西洋近現代史演習 西洋史演習			
	西洋史特講I~VIII 西洋古代史 西洋中世史 西洋近代史 西洋現代史			
選択科目	美術史(日本)A・B 東洋哲学史I・2 中国文芸史A・B 美術史(西洋)A・B			
自由科目	情報科学実習I・II			
	プログラミング言語I・II			
	データ処理論I・II ネットワーク論I・II 社会・地歴科教育法 社会貢献・課題解決教育 応用プログラミングI・II 福祉工学・IT講義			
自由科目	<文学部共通科目> 現代のコモンセンス 民俗学I・II イスラム世界論I・II 環境と倫理1・2 マス・メディア論 言語文化論I・II 文化人類学 歴史地理学I・2 映像文化論 文学部生のキャリア形成 <総合科目>			
	<文学部内他学科公開科目> <他学部公開科目>			
市ヶ谷基礎科目	<基礎科目> 法政学への招待 基礎ゼミI・II キャリアデザイン入門 就業基礎力養成I・IIなど約90科目から選択			

※カリキュラム表および科目名は、変更になる場合があります。